

前回検討会（第9回 平成30年10月31日）における主な意見（案）

- ① 災害時における被災地外からの医療・保健に関わるチームについて
- 資料2-1（災害時における被災地外からの医療・保健に関わるチームの一例）については、俯瞰図として今後も改良していただきたい。
 - この資料に、DHEAT、実績のある労災病院群や大学病院群等も追記し、網羅的に提示する必要があるのではないか。
 - 被災地の一般病院や有床診療所で働く職員の活動についても整理すべきではないか。
- ② 災害医療コーディネーター及び災害時小児周産期リエゾンの在り方について
- 都道府県災害医療コーディネーター及び地域災害医療コーディネーターの任命状況が都道府間で差がある現状について、分析が必要ではないか。
 - 活動要領を作成し、災害医療コーディネーター及び災害時小児周産期リエゾンの役割を明確化することにより、任命等の整備が進むのではないか。
 - 災害医療コーディネーターの活動要領においては、研究班が提示した三層構造を踏まえ、市町村へ災害医療コーディネーターを配置することについての記載も検討した方が良いのではないか。
 - どのように災害医療コーディネーターを配置すべきかについては、各都道府県の実情により、市町村を含めた三層構造だけでなく各地域で調整できる幅を持たせることが重要ではないか。
 - 今後、活動要領を元にした研修の在り方についても検討すべきでないか。